

## 第 27 回えいが部「トゥルーロマンス」(1993年)

デトロイトのコミック・ブック店で働くクラレンス(クリスチャン・スレイター)は、プレスリーとクンフー映画に夢中の若者。誕生日の夜、場末の映画館で千葉真一の映画3本立てを観ていた彼は、アラバマ(パトリシア・アーケット)というキュートな女の子と知り合う。ベッドの中で彼女は、実はクラレンスの店のボスから、「誕生日のプレゼントに」と頼まれたコールガールであることを明かす。だが、2人は激しく愛し合い、翌日には結婚した。クラレンスは、アラバマの元ヒモであるドレクセイ(ゲイリー・オールドマン)に話をつけに行くが殺されかかり、逆に相手を殺してしまった。あわてて持ち帰ったスーツケースには、大量のコカインが入っていた。翌日、クラレンスは元警官の父、クリフォード(デニス・ホッパー)に会い、妻のアラバマを紹介すると共に、警察の捜査状況を聞く。2人がロサンゼルスに向かった後で、ヴィンセンツ(クリストファー・ウォーケン)と名乗る男がクリフォードの元へ現われ彼を拷問し、2人とコカインの行方を突き止めようとした。シラを切るクリフォードを殺した男は、クラレンスたちの後を追う。クラレンスはヤクの取引きの話をまとめる。取引きの当日、ダイムス刑事(クリストファー・ペン)ら捜査陣と、デトロイトから追ってきた組織の男たちが現場のホテルに向かう。一同が会し、激しい銃撃戦が展開したが、クラレンスとアラバマは生き延びた。

<スタッフ>

監督：トニー・スコット

- ・ハンガー The Hunger (1983年)
- ・トップガン Top Gun (1986年)
- ・ビバリーヒルズ・コップ2 Beverly Hills Cop II (1987年)
- ・デイズ・オブ・サンダー Days of Thunder (1990年)
- ・ラスト・ボーイスカウト The Last Boy Scout (1991年)
- ・クリムゾン・タイド Crimson Tide (1995年)
- ・エネミー・オブ・アメリカ Enemy of the State (1998年)
- ・マイ・ボディガード Man on Fire (2004年)

脚本：クエンティン・タランティーノ(脚本のみ)

- ・レザボア・ドッグス Reservoir Dogs (1992年) 兼監督
- ・パルプ・フィクション Pulp Fiction (1994年) 兼監督
- ・ナチュラル・ボーン・キラーズ Natural Born Killers (1994年) 原案
- ・クリムゾン・タイド Crimson Tide (1995年) 書き直し、クレジットなし
- ・ザ・ロック The Rock (1996年) 書き直し、クレジットなし
- ・ジャッキー・ブラウン Jackie Brown (1997年) 兼監督
- ・キル・ビル Vol.1 Kill Bill: Vol. 1 (2003年) 兼監督

- ・イングルリアス・バスターズ *Inglorious Bastards* (2009年) 兼監督
- ・ジャンゴ 繋がれざる者 *Django Unchained* (2012年) 兼監督
- ・ヘイトフル・エイト *The Hateful Eight* (2015年) 兼監督

<キャスト>

- ・クリスチャン・スレーター  
薔薇の名前  
タッカー  
ヤングガンII
- ・ハーヴェイ・カイテル  
ミーン・ストリート *Mean Streets*  
タクシードライバー *Taxi Driver*  
デュエリスト/決闘者 *The Duellists*  
黄昏のチャイナタウン *The Two Jakes*  
レザボア・ドッグス *Reservoir Dogs*  
スモーク *Smoke*  
イングルリアス・バスターズ *Inglourious Basterds*
- ・マギー・スミス  
名探偵登場 *MURder by Death*  
眺めのいい部屋 *A Room with a View*  
ハリー・ポッターと賢者の石 *Harry Potter and the Sorcerer's Stone*

<天使にラブソングを裏話>

主演はグラミー賞シンガーにして女優として活躍するベット・ミドラーにオファーしていたそうですが断られたのでウーピーゴールドバーグにオファーしたそうです。

自著の内容を盗用されたとしてニューヨーク在住の尼僧（シスター）が米ウォルト・ディズニー社とソニー・ピクチャーズに対して訴えを起こした。

訴えを起こしたのはデロイス・ブレイクリーという名のシスター。彼女は1987年に「*The Harlem Street Nun* (原題)」という本を出版したが、自著が1992年公開の映画「天使にラブ・ソングを…」の下敷きになっていると確信しているという。本を出版した当時「路上生活者やハーレムの青少年のために奔走する、若く歌の上手い黒人シスター」だったという彼女の言い分によれば、当時は映画用に3ページのシノプシスを書いたそうで、スタジオ上層部が関心を示していたそう。ハリウッド・レポーターによれば、「契約違反、写真の不正利用、不正利益取得」などの理由で訴状を提出したとのこと。